

令和元年度ぐんま県民カレッジ「オープンキャンパス」大学等出前講座を開催しました

「ぐんま県民カレッジ」は、県や市町村、大学、高等学校、専修学校、博物館等施設、カルチャーセンターなどの連携により、様々な生涯学習の場を提供する学習サービス提供システムです。今年も県内の大学等教育機関の連携・協力による出前講座の実施を通じて、「ぐんま県民カレッジ」の充実・発展を図るとともに、県民の学習ニーズに応えることをねらいとして、令和元年10月5日(土)、12日(土)、26日(土)の全3回講座で太田合同庁舎を会場に「ぐんま県民カレッジ『オープンキャンパス』大学等出前講座」を開催しました。今年度も『「子どもとのかかわり方」を考える』をテーマに、子育て世代はもとより、祖父母世代の方々にも参考としていただけるよう「からだ・食・心」に視点を当てた講座を企画しました。参加者は東毛地域(桐生市・太田市・館林市・みどり市・邑楽郡)に在住・在勤の方で、延べ74名が受講しました。

令和元年10月5日(土)

【講師】日本体育大学健康学科 教授 野井 真吾(のい しんご)氏

【テーマ】「子どものからだのおかしさを科学する」～元気のためのオススメ生活～

「光・暗闇・外遊び」、「ワクワク・ドキドキ」、「よい加減」と子どもの元気を引き出すための3つの仮説的提案をいただきました。それぞれの仮説に対して、自律神経の克服、前頭葉問題の克服と生活習慣や子どもの大脳活動の変化などデータを基に分かりやすく解説していただきました。参加者の皆様にも大変ご満足いただき、「まだまだ話を聞きたい!!」というご感想を数多くいただきました。



令和元年10月12日(土)

【講師】明和学園短期大学生活学科栄養専攻 教授 木村 祐実(きむら ゆみ)氏

【テーマ】「食が与える子どもへの影響」～子どもたちの未来を決める食育～

台風19号の接近に伴い、安全に配慮し中止させていただきました。木村教授には、後日講義で使用する予定であった資料を送付していただき、第3回の講義で、参加者の皆様に資料のみ配布させていただきました。



令和元年10月26日(土)

【講師】群馬県立県民健康科学大学看護学部看護学科講師 垣上 正裕(かきがみ まさひろ)氏

【テーマ】「現代の若者の心を考える」～思春期・青年期の心の健康問題～

生涯発達とはどんなことなのか、思春期・青年期にどんなことが起きるのかなど、教育者の言葉を日常の生活に置き換えて分かりやすく説明をしていただきました。参加者の皆様からは、「思春期の子どもを育てる親として、今回の講義は子どもとのかかわり方についてとても参考になった」と御意見もいただきました。



講座全体をとおして

受講者は、講師の先生の話に熱心に耳を傾けたり、メモを取ったり、積極的に質問したり、大変意欲的に取り組んでいました。また、講座が終了した後も熱心に講師の先生に質問されている受講者の方もありました。アンケートには、「内容が良かった。他の同僚にも勧めたい。」「子どもとのかかわり方を見直すことができた。」などの感想がありました。参加者の積極的な姿勢や真剣な表情などから、県民の学習意欲を感じることでできる講座となりました。